

令和2年度第3回

教科用図書第3採択地区教育委員会協議会議事録

日時：令和2年8月18日 13:00～15:45

会場：上ノ国町総合福祉センター ジョイじよぐら

1. 挨拶

教科用図書第3採択地区教育委員会協議会会長 石島教育長（奥尻町教育委員会）

2. 議事進行について

調査委員会会長からの報告の後、各種目の採択協議に入る。各小委員会の委員長（代理含む）より、今回調査研究の対象となった中学校用教科用図書について、調査研究の結果報告及び質疑応答を行い、委員長退室後、採択協議を行う。

採択協議は、最初に幅広い観点からの感想等、続いて意見、最後に、総合的に勘案して1者を採択する。採択順は、「社会・地図」「道徳」「外国語」「保健体育」「音楽」「技術・家庭」「美術」「数学」「理科」「国語・書写」「附則第9条図書」の順で行う。

以上について説明。

3. 調査委員会会長の報告について

調査委員会会長が入室、調査研究の経緯について報告を行い、協議会会長へ報告書を提出し退室した。

4. 採択協議について

(1) 社会・地図

「社会・地図」については、小委員会委員長が「地理・歴史・公民・地図」を一度に報告した後、種目ごとに質疑応答、協議、採決することについて説明。

《小委員会委員長報告》

○福井小委員会委員長

調査研究の経緯、観点、項目、各者の調査結果の概要について報告書（様式1）に基づき報告。

《質疑応答(社会・地理的分野)》

○矢代委員（上ノ国町教育長）

主体的・対話的で深い学びへの対応について、どのように取り扱われていましたか。

○福井小委員会委員長

各者とも、学習課題を設定し、見通しをもたせ、教育出版では興味や関心を

広げるコラム「地理の窓」を設けたり、個人やグループで学びを深めたりするなど、帝国書院では社会的な課題の分析と、その解決に向けた構想に取り組む活動を設けたり、生徒自身が学習の振り返りを行ったりするなど、考えを広げたり深めたりする活動が取り上げられています。

○鈴木委員（厚沢部町教育長）

アイヌの人たちの歴史や文化等に関わる内容についてどのように取り組んでいますか。

○福井小委員会委員長

例えば、東京書籍では現代に受け継がれるアイヌ民族の文化など、教育出版ではさまざまな言語と人々の暮らしの国家と言語・民族などが取り上げられています。

○杉江委員（乙部町教育長）

北方領土について、どのように取り扱われていましたか。また、「竹島」や「尖閣諸島」については、どのように取り扱われていましたか。

○福井小委員会委員長

北方領土についてですが、各者とも、我が国固有の領土であることに触れており、東京書籍では貴重な自然が残る北方領土、教育出版では北方領土に含まれる島の名前を書き出そう、帝国書院では北方領土の周辺の国境の移り変わり、日本文教出版では北方領土付近の国境の変化などが取り上げられています。また、「竹島」や「尖閣諸島」についても、各者ともに日本固有の領土であることが取り上げられています。

《質疑応答(社会・歴史的分野)》

○中山委員（今金町教育長）

主体的・対話的で深い学びへの対応について、どのように取り扱われていましたか。

○福井小委員会委員長

各者とも、学習課題を設定し、見通しをもたせ、例えば、教育出版では絵巻物を中心に複数の資料を比較し、人々の生活の様子について話し合い、日本文教出版では複数の資料から読み取ったことをもとに、古代から中世への時代の変化について話し合い、考えを広げたり深めたりする活動が取り上げられています。

○太田委員（江差町教育長）

アイヌの人たちの歴史や文化等に関わる内容についてどのように取り組んでいますか。

○福井小委員会委員長

各者とも、アイヌの人たちの歴史や文化等に触れており、東京書籍では琉球王国やアイヌ民族との関係、教育出版では北と南で開かれた交易、帝国書院では琉球王国とアイヌの人々への支配などが取り上げられています。

○成田委員（せたな町教育長）

北方領土について、どのように取り扱われていましたか。また、「竹島」や「尖閣諸島」については、どのように取り扱われていましたか。

○福井小委員会委員長

北方領土についてですが、各者とも、我が国固有の領土であることに触れており、例えば、山川出版では今の日本、これからの日本、日本文教出版では冷戦終結後の近隣諸国との関係などが取り上げられています。また、「竹島」や「尖閣諸島」についても、各者ともに日本固有の領土であることが取り上げられています。

《質疑応答(社会・公民的分野)》

○杉江委員（乙部町教育長）

主体的・対話的で深い学びへの対応について、どのように取り扱われていましたか。

○福井小委員会委員長

各者とも、学習課題を設定し、見通しをもたせ、例えば、東京書籍では日本国憲法で保障されている人権について調べ、人権上の課題の解決策について話し合い、教育出版では消費生活と経済活動について調べ、暮らしにおける経済活動の意味について話し合い、考えを広げたり深めたりする活動が取り上げられています。

○矢代委員（上ノ国町教育長）

アイヌの人たちの歴史や文化等に関わる内容についてどのように取り扱っていますか。

○福井小委員会委員長

各者とも、アイヌの人たちの歴史や文化等に関わる内容について記載されており、例えば、東京書籍では先住民としてのアイヌ民族など、帝国書院では日本社会の差別の現実などが取り上げられています。

○鈴木委員（厚沢部町教育長）

持続可能な社会（SDGs）に関する内容について、どのように取り扱われていましたか。

○福井小委員会委員長

学習指導要領では、豊かな創造性を備え持続可能な社会の創り手となることが期待される生徒に、生きる力を育むことが求められており、東京書籍では「ものづくりで持続可能な社会を目指す」、教育出版では「SDGsの意義」、帝国書院では「持続可能な社会を目指して」、日本文教出版では「プラスチックによる海洋汚染に立ち向かう」などが取り上げられています。

《質疑応答(地図)》

○中山委員（今金町教育長）

主体的・対話的で深い学びへの対応について、どのように取り扱われていま

したか。

○福井小委員会委員長

東京書籍では一般図に「注目したい記号」を設け、地図の読図を通して分かることを地域の特色を踏まえて整理するなど、また、帝国書院では一般図に「地図活用」のコーナーを設け、地図の読図や比較を通して分かることを整理するなど、考えを広げたり深めたりする学習活動などが取り上げられています。

○成田委員（せたな町教育長）

アイヌの人たちの歴史や文化等に関わる内容についてどのように取り扱っていますか。

○福井小委員会委員長

各者とも、アイヌの人たちの歴史や文化等に関わる内容について記載されております。東京書籍ではアイヌ語に由来する地名・アイヌ語を由来とする地名、帝国書院では日本の世界文化遺産と史跡・シヤクシャインの戦いなどが取り上げられています。

○太田委員（江差町教育長）

北方領土について、どのように取り扱われていましたか。また、「竹島」や「尖閣諸島」については、どのように取り扱われていましたか。

○福井小委員会委員長

北方領土についてですが、各者とも、我が国固有の領土であることに触れており、東京書籍では日本の北端・日本の北端としての択捉島を示す、帝国書院では日本とロシア・ソ連の国境と変遷などが取り上げられています。また、「竹島」や「尖閣諸島」についても、各者ともに日本固有の領土であることが取り上げられています。

— 小委員会委員長退室 —

《採択協議(社会・地理的分野)》

○鈴木委員（厚沢部町教育長）

調査研究の報告書や委員長の報告から、各者、学習指導要領の目標・内容を踏まえて編集されていると感じる。

○杉江委員（乙部町教育長）

各者、北方領土などの日本の国土について、適切に取り上げられていることが確認できた。

○成田委員（せたな町教育長）

主体的・対話的で深い学びへの対応について、興味や関心を広げるための工夫がなされている教育出版がふさわしいと感じる。

○矢代委員（上ノ国町教育長）

領土に関する内容の充実が図られている教育出版がふさわしいと考える。

○協議会長

これまでの議論を踏まえ、社会の地理的分野については、我が国の国土や世界の諸地域に対する理解を深めるため、主体的・対話的で深い学びへの対応として、コラム「地理の窓」を設けるなど興味や関心を広げるための工夫がなされているとともに、北海道の事例や領土に関する内容の取り扱いが充実している「教育出版」と決定してよろしいでしょうか。

－ 採決・決定 －

《採択協議(社会・歴史的分野)》

○中山委員（今金町教育長）

調査研究の報告書や委員長の報告から、各者、学習指導要領の目標・内容を踏まえて編集されていると感じる。

○太田委員（江差町教育長）

各者とも、生徒が、自ら課題に取り組み、主体的な学習活動に取り組めるような工夫がなされていることが確認できた。

○鈴木委員（厚沢部町教育長）

学習課題を設定し、見通しをもたせ、複数の資料を比較し、人々の生活の様子について話し合い、考えを広げたり深めたりする活動に工夫がなされている教育出版がふさわしいと感じる。

○成田委員（せたな町教育長）

アイヌの人たちの歴史や文化等に関する記述や北と南で開かれた交易等を取り扱っている教育出版がふさわしいと考える。

○協議会長

これまでの議論を踏まえ、社会の歴史的分野については、我が国の歴史や文化に理解を深めるため、複数の資料を比較し、多面的・多角的に考察し、話し合う活動の工夫がなされているとともに、アイヌの人たちの歴史や文化等に関する内容について適切に取り上げられている「教育出版」と決定してよろしいでしょうか。

－ 採決・決定 －

《採択協議(社会・公民的分野)》

○矢代委員（上ノ国町教育長）

調査研究の報告書や委員長の報告から、各者、学習指導要領の目標・内容を

踏まえて編集されていると感じる。

○中山委員（今金町教育長）

各者とも、生徒が、自ら課題に取り組み、主体的な学習活動に取り組めるような工夫がなされていることが確認できた。

○太田委員（江差町教育長）

主体的・対話的で深い学びへの対応について、学んだ内容を振り返って整理する活動を掲載するなどの学びの深さを確認する工夫がなされている教育出版がふさわしいと感じる。

○杉江委員（乙部町教育長）

持続可能な社会の創り手の育成という目的を達成するため、「SDGsの意義」を取り扱っている教育出版がふさわしいと考える。

○協議会長

これまでの議論を踏まえ、社会の公民的分野については、公民としての資質・能力の基礎を育成し、事実を公正に判断する能力を養うため、学んだ内容を振り返って整理する活動を掲載する工夫がなされているとともに、持続可能な社会の担い手を育てる目的を達成するための工夫がなされている「教育出版」と決定してよろしいでしょうか。

－ 採決・決定 －

《採択協議(地図)》

○成田委員（せたな町教育長）

調査研究の報告書や委員長の報告から、各者、学習指導要領の目標・内容を踏まえて編集されていると感じる。

○鈴木委員（厚沢部町教育長）

各者とも、生徒が、自ら課題に取り組み、主体的な学習活動に取り組めるような工夫がなされていることが確認できた。

○矢代委員（上ノ国町教育長）

一般図に「地図活用」のコーナーを設け、考えを広げたり深めたりする学習活動を促している帝国書院がふさわしいと感じる。

○中山委員（今金町教育長）

北海道に関する資料等について、豊富で見やすく工夫されている帝国書院がふさわしいと感じる。

○協議会長

これまでの議論を踏まえ、地図については、諸資料に基づいて多面的・多角的に考察し、公正に判断する能力を養うため、生徒が主体的に学習を進めることができるよう学習活動を具体的に示すなどの配慮がなされているとともに、北海道に関する資料等について豊富で見やすく工夫がなされている「帝国書院」と決定してよろしいでしょうか。

－ 採決・決定 －

(2) 道徳

《小委員会委員長報告》

○玉置小委員会委員長

調査研究の経緯、観点、項目、各者の調査結果の概要について報告書（様式1）に基づき報告。

《質疑応答》

○太田委員（江差町教育長）

主体的・対話的で深い学びへの対応について、どのように取り扱われていましたか。また、特に話題にあがった教科書はありましたか。

○玉置小委員会委員長

主体的・対話的で深い学びへの対応についてですが、東京書籍、教育出版、日本文教出版、学研では、各学年にオリエンテーションで道徳科の基本的な学習の流れを示す、「道徳の授業はこんな時間に」を配置し、主体的に学習に取り組むことができるような工夫がなされ、光村図書、廣済堂あかつきでは、各学年に、教材ごとに多面的・多角的に考えを広げたり、深めたりするための学習のめあてを示す「てびき」を配置し、主体的に学習に取り組むことができるような工夫がなされています。

○成田委員（せたな町教育長）

持続可能な社会（SDGs）に関する内容について、どのように取り扱われていましたか。また、特に話題にあがった教科書はありましたか。

○玉置小委員会委員長

持続可能な開発目標（SDGs）に関する内容についてですが、学習指導要領では、豊かな創造性を備え持続可能な社会の作り手となることが期待される生徒に、生きる力を育むことが求められており、教育出版では自分自身との関係で「社会の持続可能な開発」について考えることのできる教材を豊富に掲載し、日本文教出版では生徒がグローバルな視野を持ち、より良い社会の創造について考え、諸課題を解決しようとする意欲が育めるような教材を配置する配慮がされています。

○杉江委員（乙部町教育長）

生徒の学習意欲を高めるために、どのような工夫がなされていましたか。また、特に話題にあがった教科書はありましたか。

○玉置小委員会委員長

生徒の学習意欲を高めるための工夫についてですが、学研では各学年に、自分を見つめる「マイプロフィール」や心の成長を振り返る「心の四季」を配置し、自らの道徳性に係る成長を実感したり、新たな課題や目標をもったりするなど、生徒の学習意欲を高める工夫がなされ、日本文教出版では各学年の別冊に、印象に残った学習とその理由を記入する「道徳科で学んだことを振り返ってみよう」を配置し、自らの道徳性に係る成長を実感したり、新たな課題や目標をもったりするなど、生徒の学習意欲を高める工夫がなされています。

－ 小委員会委員長退室 －

《採択協議》

○鈴木委員（厚沢部町教育長）

調査研究の報告書や委員長の報告から、各者、学習指導要領の目標・内容を踏まえて編集されていると感じる。

○矢代委員（上ノ国町教育長）

各者、問題解決的な学習について、道徳的な問題の解決に向けた話し合いの手順を示すなど、様々な道徳的な問題や課題を多面的・多角的に考え、判断し、実行することで、よりよく生きていくための資質・能力が養われるよう工夫がなされていることが確認できた。

○中山委員（今金町教育長）

言語活動について、自分の考えを記入したり、それぞれの考えを交流したりすることで、多様な感じ方や考え方に接する中で、考えを深め、判断し、表現する力をはぐくむことができるようにしている日本文教出版がふさわしいと感じる。

○太田委員（江差町教育長）

自らを振り返るための工夫について、学年末などに学習の振り返りを行い、自らの道徳的な成長を実感したり、新たな課題や目標をもったりできるようにしている日本文教出版がふさわしいと感じる。

○協議会長

これまでの議論を踏まえ、道徳については、道徳的な判断力、心情、実践意欲と態度を育てるため、道徳的価値についての理解を基に、自己を見つめ、物事を多面的・多角的に考え、自己の生き方について考えを深める学習を進められるよう工夫がなされているとともに、学年末などの学習の振り返りの工夫もなされている「日本文教出版」と決定してよろしいでしょうか。

(3) 外国語

《小委員会委員長報告》（代理）

○赤井小委員会委員長（代理）

調査研究の経緯、観点、項目、各者の調査結果の概要について報告書（様式1）に基づき報告。

《質疑応答》

○鈴木委員（厚沢部町教育長）

主体的・対話的で深い学びへの対応について、どのように取り扱われていましたか。また、特に話題にあがった教科書はありましたか。

○赤井小委員会委員長（代理）

各者とも、主体的・対話的で深い学びを意識したコーナーを設けてあり、そのコーナーは学習課題を設定し、見通しをもたせるという点で共通しています。内容的には、修学旅行のプランを作成したり、テーマに沿ったスピーチ原稿を書いて発表・感想などを述べ合ったりする活動など4技能5領域を統合的に扱った内容となっています。特にNew Horizon（東京書籍）は、4技能を統合的に扱っている内容ごとに、巻末の詳細なCAN-DOリストと照らし合わせながら評価ができるという点で話題にあがりました。

○成田委員（せたな町教育長）

小学校高学年に外国語が新たに教科として位置付けられましたが、小学校との円滑な接続に向けて、どのような内容が取り扱われていましたか。また、特に話題にあがった教科書はありましたか。

○赤井小委員会委員長（代理）

各者とも小学校において学習した「自己紹介」や「人物紹介」、「友達へのインタビュー」や「体験したことを発表する活動」などを踏まえて小学校との円滑な接続を図っています。

○太田委員（江差町教育長）

生徒の学習意欲を高めるために、どのような工夫がなされてきましたか。また、特に話題にあがった教科書はありましたか。

○赤井小委員会委員長（代理）

各者とも北海道や札幌の観光地・食・動物・スポーツ選手・自然保護等を取り扱っており、身近な話題を通し生徒の学習意欲を高める工夫がなされています。各者とも巻末にCAN-DOリストを掲載し、生徒が自分の到達の度合いについて自主的に振り返りができるような工夫がなされています。また、1人1台端末を活用した学習活動として、二次元バーコード（QRコード）を掲載するなど、生徒が自分のペースで発音練習ができるように工夫がなされています。特に、New Horizon（東京書籍）とNew Crown（三省堂）では、

小学校で学んだ語句についてページ下に掲載されるなど、生徒の振り返りがしやすくなるなどの工夫がなされています。

－ 小委員会委員長退室 －

《採択協議》

○矢代委員（上ノ国町教育長）

調査研究の報告書や委員長の報告から、各者、学習指導要領の目標・内容を踏まえて編集されていると感じる。

○杉江委員（乙部町教育長）

各者、小学校において学習した「自己紹介」や「人物紹介」等を踏まえ、小学校からの円滑な接続に向けた工夫がなされていることが確認できた。

○中山委員（今金町教育長）

小学校で学んだ語句についてページ下に掲載されるなど、生徒の振り返りがしやすくなるなど工夫がされている東京書籍がふさわしいと感じる。

○太田委員（江差町教育長）

4技能を総合的に扱っている内容ごとに、巻末の詳細CAN-DOリストと照らし合わせながら評価が出来るなど、その用法について、丁寧な取扱いがなされている東京書籍がふさわしいと感じる。

○協議会長

これまでの議論を踏まえ、外国語については、小学校からの接続がスムーズであること、外国語の背景にある文化に対する理解を深め、積極的に外国語を用いてコミュニケーションを図ろうとする態度の育成に向けた工夫がなされていることや、4技能を総合的に取扱い内容ごとにCAN-DOリストと照らし合わせて、評価が出来る工夫がなされている「東京書籍」と決定してよろしいでしょうか。

－ 採決・決定 －

（4）保健体育

《小委員会委員長報告》

○皆川小委員会委員長

調査研究の経緯、観点、項目、各者の調査結果の概要について報告書（様式1）に基づき報告。

《質疑応答》

○杉江委員（乙部町教育長）

主体的・対話的で深い学びへの対応について、どのように取り扱われていましたか。

○皆川小委員会委員長

各者とも、学習課題を設定し、見通しをもたせ、例えば、東京書籍では日常経験や小学校で学習したことを基に考えたり、話し合ったりする活動によって、主体的に課題解決に取り組めるような配慮がなされています。大修館では学習の流れや学び方を説明するページ、「クローズアップ」や「特集資料」を設け、自分の考えを広げたり深めたりする活動が取り上げられています。

○矢代委員（上ノ国町教育長）

LGBTなどに関する内容について、どのように取り扱われていましたか。

○皆川小委員会委員長

学研では性的マイノリティーに関する調査・研究者の取り組みについて説明され、出生時に診断された性と自らが認める性が一致しないことや多様な性のありかたを踏まえた表現で、心身の発達と心の健康の最初のページで取り扱われています。大日本図書では個性や能力を大切にすることにおいて、生まれつきの生物学的な性別があり、一方社会によって作りあげられた「男性像・女性像」などや「男性らしさ、女性らしさ」の押し付け、「男性なのに、女性なのに」など誰かを難することに繋がるで取り扱われています。

○中山委員（今金町教育長）

新型コロナウイルス感染症について、どのように取り扱われていましたか。

○皆川小委員会委員長

東京書籍では感染症のグローバル化に伴う世界的な流行の可能性について考えられる資料や、感染症の具体的な予防について学習できる資料が掲載されています。学研では新たな感染症が拡大する場合などには、患者や家族への偏見や差別といった人権上の問題についても考えることができるような記載の工夫がされています。

— 小委員会委員長退室 —

《採択協議》

○成田委員（せたな町教育長）

調査研究の報告書や委員長の報告から、各者、学習指導要領の目標・内容を踏まえて編集されていると感じる。

○太田委員（江差町教育長）

各者、保健分野及び体育分野において学習課題を設定し、見通しをもたせるとともに、話し合いを通じて自分の考えを広げたり深めたりする活動について工夫されていることが確認できた。

○鈴木委員（厚沢部町教育長）

生徒が、心身の健康の保持増進ならびに豊かなスポーツライフの実現に向け

て、日常経験や小学校で学習したことを基に考えたり、話し合ったりする活動により、主体的に課題解決に取り組めるよう配慮されている東京書籍がふさわしいと感じる。

○杉江委員（乙部町教育長）

感染症のグローバル化に伴う世界的な流行の可能性について考えられる資料や、感染症の具体的な予防について学習できる資料を掲載し、生徒の学習意欲を高める工夫がなされている東京書籍がふさわしいと考える。

○協議会長

これまでの議論を踏まえ、保健体育については、健康の保持増進のための実践力の育成などに向けて、日常経験や小学校で学習したことを基に考えたり、話し合ったりする活動により、主体的に課題解決に取り組めるよう配慮されているとともに、社会のグローバル化に伴う感染症の世界的な流行の可能性や、具体的な予防について学習意欲を高める工夫がなされている「東京書籍」と決定してよろしいでしょうか。

－ 採決・決定 －

(5) 音 楽

「音楽」については、小委員会委員長が「一般・器楽合奏」を一度に報告した後、種目ごとに質疑応答、協議、採決することについて説明。

《小委員会委員長報告》

○永井小委員会委員長

調査研究の経緯、観点、項目、各者の調査結果の概要について報告書（様式1）に基づき報告。

《質疑応答(音楽・一般)》

○成田委員（乙部町教育長）

主体的・対話的で深い学びへの対応について、どのように取り扱われていましたか。

○永井小委員会委員長

各者とも、学習課題を設定し、見通しをもたせ、教育出版では言葉の重ね方を工夫しながらイメージに合った音楽をつくるなど、教育芸術社では音のつながり方を工夫しながら旋律をつくるなど、考えを広げたり深めたりする活動が取り上げられています。

○矢代委員（上ノ国町教育長）

北海道とのかかわりのある内容について、どのように取り扱われていましたか。

○永井小委員会委員長

教育出版では「民謡の特徴を捉えてふさわしい声で歌おう」という題材で、ソーラン節、江差追分が取り扱われています。教育芸術社では「日本の民謡やアジアの諸民族の音楽の特徴を感じ取ってその魅力を味わおう」という題材で、ソーラン節、江差追分が取り扱われています。

○鈴木委員（厚沢部町教育長）

生徒の学習意欲を高めるために、どのような工夫がなされていましたか。

○永井小委員会委員長

教育出版では「Let's Sing!」で表現するための技能を提示したり、作者の思いに触れるようにして、音楽を愛好する心情を育んだりするなど、教育芸術社では「My Voice」で歌唱表現のための技能を提示したり、演奏者からのアドバイスを紹介して学習を深めることができるようにしたりするなど、生徒の学習意欲を高める工夫がなされている。

《質疑応答(音楽・器楽合奏)》

○杉江委員（乙部町教育長）

主体的・対話的で深い学びへの対応について、どのように取り扱われていましたか。

○永井小委員会委員長

各者とも、学習課題を設定し、見通しをもたせ、教育出版では楽器の音色や響きを生かし、全体の構成を工夫して表現するなど、教育芸術社ではパートの役割や曲の構成を生かして表現を工夫するなど、考えを広げたり深めたりする活動が取り上げられています。

○太田委員（江差町教育長）

北海道とのかかわりのある内容について、どのように取り扱われていましたか。

○永井小委員会委員長

教育出版では「発展 弾く楽器の仲間たち」という題材で、宗谷、樺太アイヌの楽器が取り扱われています。教育芸術社では資料「篠笛」という題材で、五勝手鹿子舞が取り扱われています。

○矢代委員（上ノ国町教育長）

生徒の学習意欲を高めるために、どのような工夫がなされていましたか。

○永井小委員会委員長

教育出版では世界の諸民族の楽器を掲載したり、箏と篠笛の家元からのメッセージにより、音楽を愛好する心情を育んだりするなど、教育芸術社では様々な打楽器の奏法を掲載したり、ピアノ奏者からのメッセージにより、自ら考える力を引き出したりするなど、生徒の学習意欲を高める工夫がなされています。

— 小委員会委員長退室 —

《採択協議(音楽・一般)》

○中山委員 (今金町教育長)

調査研究の報告書や委員長の報告から、各者、学習指導要領の目標・内容を踏まえて編集されていると感じる。

○成田委員 (せたな町教育長)

我が国や北海道の伝統音楽の指導にかかわり、各者、北海道の民謡等を取り扱っていることが確認できた。

○矢代委員 (上ノ国町教育長)

音楽の学習意欲を高めるため、「音楽を愛好する心情」を育むなどの工夫がなされている教育出版がふさわしいと感じる。

○太田委員 (江差町教育長)

主体的・対話的で深い学びへの対応について、言葉の重ね方を工夫しながらイメージに合った音楽をつくるなどの工夫している教育出版がふさわしいと感じる。

○協議会長

これまでの議論を踏まえ、音楽の一般については、表現及び鑑賞の幅広い活動を通して音楽を愛好する心情を育むため、表現のための技能を掲示したり、作者の思いに触れるよう工夫がなされているとともに、主体的・対話的で深い学びへの対応について、言葉の重ね方を工夫しながらイメージに合った音楽をつくるなどの配慮がなされている「教育出版」と決定してよろしいでしょうか。

— 採決・決定 —

《採択協議(音楽・器楽合奏)》

○杉江委員 (乙部町教育長)

調査研究の報告書や委員長の報告から、各者、学習指導要領の目標・内容を踏まえて編集されていると感じる。

○中山委員 (今金町教育長)

我が国や北海道の伝統音楽の指導にかかわり、各者、北海道の民謡等を取り扱っていることが確認できた。

○鈴木委員 (厚沢部町教育長)

主体的・対話的で深い学びへの対応について、楽器の音色や響きを生かし、全体の構成を工夫して表現するなどの活動が取り上げられている教育出版

がふさわしいと感じる。

○成田委員（せたな町教育長）

音楽の学習意欲を高めるため、世界の諸民族の楽器を掲載したり、箏と篠笛の家元からのメッセージなどの工夫がなされている教育出版がふさわしいと感じる。

○協議会長

これまでの議論を踏まえ、音楽の器楽合奏については、表現及び鑑賞の幅広い活動を通して音楽を愛好する心情を育むため、楽器の音色や響きを生かし、全体の構成を工夫して表現するなどの活動が取り上げられているとともに、世界の諸民族の楽器を掲載したり、箏と篠笛の家元からのメッセージにより、生徒の学習意欲を高める工夫がなされている「教育出版」と決定してよろしいでしょうか。

－ 採決・決定 －

(6) 技術・家庭

「技術・家庭」については、小委員会委員長が「技術分野・家庭分野」を一度に報告した後、種目ごとに質疑応答、協議、採決することについて説明。

《小委員会委員長報告》

○内糸小委員会委員長

調査研究の経緯、観点、項目、各者の調査結果の概要について報告書（様式1）に基づき報告。

《質疑応答(技術分野)》

○中山委員（今金町教育長）

主体的・対話的で深い学びへの対応について、どのように取り扱われていましたか。

○内糸小委員会委員長

各者とも、学習課題を設定し、見通しをもたせ、例えば、東京書籍では生産者の立場からよりよい栽培方法を考えたり、栽培の成果・課題を基に改善を図ったりするなど、教育図書では育て方のポイントを調べる方法を取り上げたり、育成結果や工夫した点を発表したりするなど、開隆堂では生活をより良くする方法を考え実践したり、自分の考えを根拠や理由を明確にして説明したりするなど、考えを広げたり深めたりする活動が取り上げられています。

○矢代委員（上ノ国町教育長）

生徒の学習意欲を高めるために、どのような工夫がなされてきましたか。

○内糸小委員会委員長

東京書籍では安全性や経済性など多角的な視点で技術を捉えることができる「最適化の窓」を示したり、学習を広げ、深めることができる資料を掲載したりするなど、教育図書では設計や計画を構想することができるワークシートを示したり、実習中に確認できる技能に関する資料を別冊にしたりするなど、開隆堂では生徒の興味・関心を高めることができる写真やイラスト、図表、コラム等を各ページに示したり、実践的・体験的な学習活動を実習例として掲載したりするなど、生徒の学習意欲を高める工夫がなされています。

○鈴木委員（厚沢部町教育長）

情報の技術に関する内容について、どのように取り扱われていましたか。

○内糸小委員会委員長

各者とも、情報の技術がどのように利用されているかを考えることを通して、情報の技術と生活や社会、環境との関わりについて理解したり、東京書籍では情報機器の利用の便利な点と注意すべき点について、教育図書では情報の技術の果たす役割についてまとめることについて、開隆堂では今後の生活に求められる情報の技術について、話し合うことを通して、情報の技術を工夫し創造したりする活動が取り上げられています。

《質疑応答(家庭分野)》

○太田委員（江差町教育長）

主体的・対話的で深い学びへの対応について、どのように取り扱われていましたか。

○内糸小委員会委員長

各者とも、SDGsを取り上げ、学習課題を設定し、見通しをもたせ、例えば、東京書籍では自分や家族の消費行動が社会に与える影響を話し合うなど、教育図書では普段の生活において特に重要だと思ふ目標を考え、グループで話し合うなど、開隆堂では自分たちがどのような取組ができるか話し合うなど、考えを広げたり深めたりする活動が取り上げられています。

○杉江委員（乙部町教育長）

生徒の学習意欲を高めるために、どのような工夫がなされていましたか。

○内糸小委員会委員長

東京書籍では「プロに聞く」「せいかつメモ」などを掲載したり、中学生キャラクターや学習案内キャラクターを活用したりするなど、教育図書では「センパイに聞こう」「メッセージ」などを掲載したり、中学生キャラクターや教師キャラクターを活用したりするなど、開隆堂では「先輩からのエール」「豆知識」などを掲載したり、中学生キャラクターや学習案内キャラクターを活用したりするなど、生徒の学習意欲を高める工夫がなされています。

○成田委員（せたな町教育長）

北海道とのかかわりのある内容について、どのように取り扱われていましたか。

○内糸小委員会委員長

地域の食文化として、東京書籍と教育図書では「石狩鍋（なべ）」を、開隆堂では「ちゃんちゃん焼き」などが取り扱われています。

－ 小委員会委員長退室 －

《採択協議(技術分野)》

○鈴木委員（厚沢部町教育長）

調査研究の報告書や委員長の報告から、各者、学習指導要領の目標・内容を踏まえて編集されていると感じる。

○矢代委員（上ノ国町教育長）

各者、日常生活に必要な基礎的・基本的な知識及び技能を身に付けるための工夫がなされていることが確認できた。

○中山委員（今金町教育長）

生活をより良くする方法を考え実践をしたり、生徒の興味・関心を高めるため、写真やイラスト等を各ページに示し、実践的・体験的な学習活動を実習例とし掲載するなど、生徒の学習意欲を高める工夫がされている開隆堂がふさわしいと感じる。

○成田委員（せたな町教育長）

今後の生活に求められる情報の技術について、話し合うことを通して、情報の技術を工夫し創造したりする活動が取り上げられている開隆堂がふさわしいと感じる。

○協議会長

これまでの議論を踏まえ、技術・家庭の技術分野については、生活をより良くしようと考え実践する態度を育むため、実践的・体験的な学習活動の実践例を写真やイラストなどで各ページへ掲載し、学習意欲を高める工夫がなされているとともに、今後の生活に必要な情報の技術に対し、話し合うことを通して、情報の技術を工夫し創造したりする活動に配慮がなされている「開隆堂」と決定してよろしいでしょうか。

－ 採決・決定 －

《採択協議(家庭分野)》

○太田委員（江差町教育長）

調査研究の報告書や委員長の報告から、各者、学習指導要領の目標・内容を

踏まえて編集されていると感じる。

○中山委員（今金町教育長）

各者、学習課題を設定し、見通しを持たせるとともに、SDGsを取り上げるなどの工夫がなされていることが確認できた。

○杉江委員（乙部町教育長）

より良い生活の実現に向けて、自分たちにどのような取り組みができるかを話し合うなど、考えを広げたり深めたりする活動の工夫がされている開隆堂がふさわしいと感じる。

○鈴木委員（厚沢部町教育長）

「先輩からのエール」「豆知識」などを掲載したり、中学生キャラクターや学習案内キャラクターを活用するなど、生徒の学習意欲を高める工夫がされている開隆堂がふさわしいと感じる。

○協議会長

これまでの議論を踏まえ、技術・家庭の家庭分野については、生活をより良くしようと考え実践する態度を育むため、SDGsを取り上げ、自分たちがどのような取組ができるか話し合うなど、生活を工夫し創造しようとする態度を育む取組や、「豆知識」の掲載やキャラクターを活用することにより、生徒の学習意欲を高める工夫がなされている「開隆堂」と決定してよろしいでしょうか。

－ 採決・決定 －

(7) 美術

《小委員会委員長報告》

○谷口小委員会委員長

調査研究の経緯、観点、項目、各者の調査結果の概要について報告書（様式1）に基づき報告。

《質疑応答》

○成田委員（せたな町教育長）

主体的・対話的で深い学びへの対応について、どのように取り扱われていましたか。

○谷口小委員会委員長

各者とも、学習課題を設定し、見通しをもたせ、開隆堂では身の回りのロゴタイプの形や色彩を交流するなど、光村図書では作者の思いや表現の工夫を交流するなど、日本文教出版では身の回りにあるものの形や色彩などの特徴を交流するなど、考えを広げたり深めたりする活動が取り上げられていま

す。

○中山委員（今金町教育長）

内容の構成や排列について、どのような工夫がなされていましたか。

○谷口小委員会委員長

開隆堂では社会科の関連をマーク等で示し、光村図書では数学科の関連をコラム等で示し、日本文教出版では理科の関連をコラム等で示すなど、教科等横断的に学習することができるような工夫がなされています。

○鈴木委員（厚沢部町教育長）

生徒の学習意欲を高めるために、どのような工夫がなされていましたか。

○谷口小委員会委員長

開隆堂ではまとめのための資料や表現のための技法、札幌駅のパブリックアートを紹介、光村図書ではマッピングや話合いの仕方など発想を広げる方法、伝統的なアイヌ文様を紹介、日本文教出版では技法の習得や題材に関連した鑑賞資料、道内の公園にある屋外彫刻を紹介するなど、生徒の学習意欲を高める工夫がなされています。

— 小委員会委員長退室 —

《採択協議》

○成田委員（せたな町教育長）

調査研究の報告書や委員長の報告から、各者、学習指導要領の目標・内容を踏まえて編集されていると感じる。

○太田委員（江差町教育長）

内容の構成や排列について、各者、他教科との関連で教科等横断的に学習することができるような工夫がされていることが確認できた。

○杉江委員（乙部町教育長）

主体的・対話的で深い学びへの対応について、身の回りのロゴタイプの形や色彩を交流する開隆堂や身の回りにあるものの形や色彩などの特徴を交流する活動が掲載されている日本文教出版がふさわしいと感じる。

○矢代委員（上ノ国町教育長）

生徒の学習意欲を高められるよう、技法の習得や題材に関連した鑑賞資料、道内の公園にある屋外彫刻を紹介するなどの工夫がなされている日本文教出版がふさわしいと感じる。

○協議会長

これまでの議論を踏まえ、美術については、美術の基礎的な能力を伸ばし、豊かな情操を養うため、身の回りにある対象や事象の特徴を交流するなど、

造形的な視点を広げたり深めたりする活動が掲載されているとともに、技法の習得や題材に関連した鑑賞資料などの工夫がなされている「日本文教出版」に決定してよろしいでしょうか。

－ 採決・決定 －

(8) 数学

《小委員会委員長報告》

○酒井小委員会委員長

調査研究の経緯、観点、項目、各者の調査結果の概要について報告書（様式1）に基づき報告。

《質疑応答》

○成田委員（せたな町教育長）

主体的・対話的で深い学びへの対応について、どのように取り扱われていましたか。

○酒井小委員会委員長

各者とも、学習課題を設定し、見通しをもたせ、例えば、東京書籍では四角形の各辺の中点を結んでできる四角形について考え、条件を変えて調べた結果について話し合い、数研出版では三角形と線分の比を活用する方法について考え、補助線の引き方について話し合い、考えを広げたり深めたりする活動が取り上げられています。

○太田委員（江差町教育長）

内容の構成や排列について、どのような工夫がなされていましたか。

○酒井小委員会委員長

各者とも、内容の構成や排列について工夫されています。例えば、東京書籍では乗法公式を使って平方根を含む式を計算する学習の後に、平方根の考えを基にして、二次方程式を解く方法を考察し表現する問題を扱うなど系統的・発展的に学習できるよう工夫がされています。

○鈴木委員（厚沢部町教育長）

生徒の学習意欲を高めるために、どのような工夫がなされていましたか。

○酒井小委員会委員長

各者とも、生徒の学習意欲を高めるための工夫がなされています。例えば、教育出版では章の導入課題「Let's Try」で日常の事象から数学的活動が始められるようにした「数学の広場」で生徒の学習を深め広げるための話題を取り上げており、啓林館では「学習のとびら」や「利用の節」などで、学習内容に関連する身の回りの題材を取り上げたり、「自分から学ぼう編」を裏表紙から始まる縦開きの構成にして課題の存在を分かりやすく伝えるなどの工夫がなされています。

－ 小委員会委員長退室 －

《採択協議》

○杉江委員（乙部町教育長）

調査研究の報告書や委員長の報告から、各者、学習指導要領の目標・内容を踏まえて編集されていると感じる。

○中山委員（今金町教育長）

各者とも、内容の構成や排列について系統的・発展的に学習できるよう工夫がなされていることが確認できた。

○矢代委員（上ノ国町教育長）

主体的・対話的で深い学びへの対応について、条件を変えて調べた結果について話したり、考えたりすることで事象を数学化する力を育む学習の工夫がなされている東京書籍がふさわしいと感じる。

○太田委員（江差町教育長）

学習への動機付けや問題解決の過程を評価・改善する態度を養うために、筋道を立てて学習を進められるよう工夫がなされている東京書籍がふさわしいと感じる。

○協議会長

これまでの議論を踏まえ、数学については、数量や図形などに関する基礎的な概念等を活用して考えたり判断したりしようとする態度を育てるため、条件を変えて調べた結果について話したり、考えたりする活動が取り上げられているとともに、学習への動機付けや筋道を立てて学習を進められる工夫がなされている「東京書籍」と決定してよろしいでしょうか。

－ 採決・決定 －

(9) 理科

《小委員会委員長報告》

○大野小委員会委員長

調査研究の経緯、観点、項目、各者の調査結果の概要について報告書（様式1）に基づき報告。

《質疑応答》

○矢代委員（上ノ国町教育長）

主体的・対話的で深い学びへの対応について、どのように取り扱われていましたか。

○大野小委員会委員長

各者とも、学習課題を設定し、見通しをもたせ、例えば、大日本図書では振

り子の運動について調べ、位置エネルギーと運動エネルギーの変化について話し合い、教育出版ではタマネギの根の成長の様子について調べ、根の先端に近い部分の細胞の変化について話し合い、考えを広げたり深めたりする活動が取り上げられています。

○鈴木委員（厚沢部町教育長）

北海道とかかわりのある内容について、どのように取り扱われていましたか。

○大野小委員会委員長

各者とも、北海道とのかかわりについて掲載されています。教育出版では岩石の種類で乙部町の安山岩や花こう岩が見られるところが掲載されています。東京書籍では動き続ける大地で胆振東部地震が掲載されています。

○太田委員（江差町教育長）

生徒の学習意欲を高めるために、どのような工夫がなされていましたか。

○大野小委員会委員長

各者とも、生徒の学習意欲を高める工夫がなされている。学校図書では日常から不思議を見つける場面を例示したり、これまでの学びを振り返ったりするなど、啓林館では生徒の興味を高める写真資料を掲載したり、生徒が学校生活に直結させて学んだ内容の広がりや深まりを実感できる科学コラムを掲載したりするなど、生徒の学習意欲を高める工夫がなされています。

－ 小委員会委員長退室 －

《採択協議》

○中山委員（今金町教育長）

調査研究の報告書や委員長の報告から、各者、学習指導要領の目標・内容を踏まえて編集されていると感じる。

○矢代委員（上ノ国町教育長）

各者とも、主体的・対話的で深い学びへの対応について、どのように取り扱われているかを確認できた。

○成田委員（せたな町教育長）

北海道に関する具体的な教材や資料等の取り扱いについて、乙部町の安山岩や花こう岩を取り上げている教育出版がふさわしいと感じる。

○杉江委員（乙部町教育長）

科学的に探求しようとする態度を養うために、生徒が主体的に疑問を見つける活動を設定したり、理科の学習と日常生活の関連を紹介するなどの工夫がなされている教育出版がふさわしいと感じる。

○協議会長

これまでの議論を踏まえ、理科については、科学的な見方や考え方を養うため、生徒が主体的に疑問を見つける活動を設定したり、理科の学習と日常生活の関連を紹介することで、生徒の学習意欲を高める工夫がなされているとともに、北海道に関する具体的な教材や資料等について檜山管内の例も取り上げられている「教育出版」と決定してよろしいでしょうか。

－ 採決・決定 －

(10) 国語・書写

「国語・書写」については、小委員会委員長が「国語・書写」を一度に報告した後、種目ごとに質疑応答、協議、採決することについて説明。

《小委員会委員長報告》

○石澤小委員会委員長

調査研究の経緯、観点、項目、各者の調査結果の概要について報告書（様式1）に基づき報告。

《質疑応答(国語)》

○杉江委員（乙部町教育長）

主体的・対話的で深い学びへの対応について、どのように取り扱われていましたか。

○石澤小委員会委員長

各者とも、学習課題を設定し、見通しをもたせ、三省堂では人物像や人物の心情の変化を捉えたり、要旨を捉え筆者の考えに対して自分の考えをもったりするなど、教育出版では筆者の主張の視点を整理しながら読んだり、作品の人称・視点を意識しながら読んだりするなど、考えを広げたり深めたりする活動が取り上げられています。

○太田委員（江差町教育長）

北海道とかかわりのある内容について、どのように取り扱われていましたか。

○石澤小委員会委員長

北海道とかかわりのある内容についてですが、例えば、教育出版ではアイヌ民族の知里幸恵の生涯を記述した読書教材「銀のしずく降る降る」を、光村図書では北海道出身の作家、穂村弘の短歌が取り扱われています。

○成田委員（せたな町教育長）

話すこと・聞くことにかかわる内容について、どのような工夫がなされていましたか。

○石澤小委員会委員長

話すこと・聞くことにかかわる内容ついてですが、東京書籍では話し合っ
て合意を形成する活動、三省堂では合意形成に向けて話し合いを計画的に進
める活動、教育出版では意見を共有しながら話し合う活動、光村図書では課題
を見つけ合意形成に向けて話し合う活動により、社会生活における人との関
わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりする学
習活動が取り上げられています。

《質疑応答(書写)》

○鈴木委員（厚沢部町教育長）

主体的・対話的で深い学びへの対応について、どのように取り扱われていま
したか。

○石澤小委員会委員長

各者とも、学習課題を設定し、見通しをもたせ、特に、教育出版では筆脈や
配列について考えたり、「筆脈」や「配列」など、書写の学習用語を用いて
学習した内容について話し合ったりするなど、考えを広げたり深めたりする
活動が取り上げられています。

○杉江委員（乙部町教育長）

硬筆と毛筆の関連について、どのように取り扱われていましたか。

○石澤小委員会委員長

硬筆と毛筆の関連についてですが、東京書籍では速く滑らかな動きのための
点画の省略、行書と仮名の調和のための変化と筆脈など、光村図書では次の
画への筆脈を意識した穂先の動き、行書と仮名の調和を意識した筆脈など、
毛筆で学んだことを生かして硬筆で書く活動を通して、硬筆による書写の能
力の基礎を身に付ける学習活動が取り上げられています。

○矢代委員（上ノ国町教育長）

生徒の学習意欲を高めるために、どのような工夫がなされてきましたか。

○石澤小委員会委員長

生徒の学習意欲を高めるための工夫についてですが、国語科や他教科と関連
を図った教材を掲載したり、三省堂では北海道にゆかりのある石川啄木の短
歌を掲載したり、教育出版では北海道の「五稜郭跡」の石碑の写真を掲載し
たりするなど、生徒の学習意欲を高める工夫がなされています。

— 小委員会委員長退室 —

《採択協議(国語)》

○中山委員（今金町教育長）

調査研究の報告書や委員長の報告から、各者、学習指導要領の目標・内容を
踏まえて編集されていると感じる。

○鈴木委員（厚沢部町教育長）

各者、国語で求められている言語活動の充実について、工夫されていることが確認できた。

○成田委員（せたな町教育長）

読書活動の充実にむけた手立てや、日常の読書に誘う様々な工夫が巧みである教育出版がふさわしいと感じる。

○杉江委員（乙部町教育長）

主体的に学習に取り組めるよう巻頭に「言葉の地図」を掲載し、指導事項や言語活動を総覧できる一覧や学習を振り返る観点、確実に身に付けたい重点的な内容などを掲載している教育出版がふさわしいと考える。

○協議会長

これまでの議論を踏まえ、国語については、国語で適切に表現することと、思考力や想像力及び言語感覚を養うため、主体的に学習に取り組めるよう指導事項や言語活動の一覧や重点的な内容などが掲載されているとともに、読書活動の充実に向け、日常の読書に誘う様々な工夫がなされている「教育出版」と決定してよろしいでしょうか。

－ 採決・決定 －

《採択協議(書写)》

○矢代委員（上ノ国町教育長）

調査研究の報告書や委員長の報告から、各者、学習指導要領の目標・内容を踏まえて編集されていると感じる。

○中山委員（今金町教育長）

各者、書写で求められている文字文化の豊かさに触れ、効果的に文字を書くことについて工夫されていることが確認できた。

○鈴木委員（厚沢部町教育長）

「お勧めの本の帯」や「ポップ」など、国語科や他教科と関連を図った教材や見やすく資料が豊富に掲載されている教育出版がふさわしいと感じる。

○太田委員（江差町教育長）

主体的・対話的で深い学びへの対応について、学習課題で見通しをもたせ、筆脈や配列、書写の学習用語を用いて考えたり、話し合ったりするなどの活動が取り上げられている教育出版がふさわしいと感じる。

○協議会長

これまでの議論を踏まえ、書写については、書写の能力を社会生活や学習場面に生かすため、国語科や他教科との関連を図った教材や見やすく資料が豊

富に掲載されているとともに、主体的・対話的で深い学びを進められるよう、学習課題で見通しをもたせ、筆脈や配列、書写の学習用語を用いて考えたり、話し合ったりするなどの活動が取り上げられている「教育出版」と決定してよろしいでしょうか。

－ 採決・決定 －

(11) 附則第9条図書

文部科学省発行の一般図書一覧に登載されている図書のうち、前回、調査研究した令和元年度以降に追加された本について、小委員会で調査研究を行ったことについて説明。

《小委員会委員長報告》

○松島小委員会委員長

調査研究の経緯、観点、項目、各者の調査結果の概要について報告書（様式1）に基づき報告。

《質疑応答》

○太田委員（江差町教育長）

日常生活との結び付きについて、各者、どのように取り扱っていましたか。

○松島小委員会委員長

各者とも、日常生活と結びつくような工夫がなされ、フレーベル館（かがくのあそび）では日常の物や風景、偕成社では1日の大事な挨拶の言葉、福音館では身の回りのものの形、三省堂では年中行事や記念日の由来、フレーベル館（たいせつなこと）では身近な遊びでふれる科学、ドレミ楽譜出版社では生活に結び付いた歌、コクヨ株式会社では身近な題材への顔作り、合同出版では主体的に取り組める運動、教育画劇では工程の少ない簡単な料理作り、くもん出版では身近な英会話表現について取り扱っています。

○杉江委員（乙部町教育長）

生徒にとって、親しみやすさ、読みやすさなどの点で、特に話題にあがった教科書はありましたか。

○松島小委員会委員長

特に話題になった図書はありませんが、各者とも、親しみやすさ読みやすさに対する、工夫がなされ、フレーベル（かがくあそび）では、身近な「光」「水」「空気」などを取り上げた遊び方や、実験の方法を文章だけではなく、写真やイラストを活用して子どもにもわかりやすいよう工夫され、コクヨ（かおノート）では、発達段階に応じてペンや付属のシールを使い、発達段階に応じて自由な発想で1ページ毎に顔をつくり上げることで、親しみやすさへの工夫がされ、教育画劇（つくってたべよう!）については、「くだものあめ」や「てづくりアイス」など22種類の作り方が文章だけではなく、イ

ラストを活用して子どもにもわかりやすいよう工夫されています。

○鈴木委員（厚沢部町教育長）

表紙や体裁、製本などで、特に、話題にあがった図書はありますか。

○松島小委員会委員長

表紙については、各者ともカラー印刷で子どもの興味・関心を高める工夫がされており、ビニール加工や厚紙など堅ろうなつくりとなっています。

－ 小委員会委員長退室 －

《採択協議》

○矢代委員（上ノ国町教育長）

調査研究の報告書や委員長の報告から、各者、実生活・実社会との日常的な関わりを上手に取り込み、障害の種類や程度に応じた配慮もあり、特別支援学級の子どもたちの実態に応じて編集されていると感じる。

○杉江委員（乙部町教育長）

各者、子どもたちの日常生活との結びつきについて、配慮や工夫がなされていることが確認できた。

○中山委員（今金町教育長）

各者、子どもたちにとって、親しみやすく、読みやすいなど工夫がなされていると考える。

○成田委員（せたな町教育長）

各者、表紙や体裁、製本など、子どもたちに配慮されていると感じる。

○協議会長

これまでの議論を踏まえ、一般図書については、各者とも、日常生活との結びつきに配慮や工夫がなされていることや、親しみやすく読みやすいなどの工夫がなされており、表紙や体裁、製本などの配慮がされていることから、北海道教育委員会作成の採択参考資料に示されている333点について、各中学校の希望を踏まえ、各町教育委員会において、生徒の障害の種類や程度に応じて採択することによってよろしいでしょうか。

－ 採決・決定 －

5. 情報開示の時期、方法・内容について

- ・ 開示の時期については、全町の教育委員会での採択終了後、統一で行う。
- ・ 開示内容については、採択教科書名、採択理由、協議会委員名並びに調査委員会委員名、議事録、調査委員会から協議会へ提出された報告書とする。
- ・ 開示を行っていることについて、町ホームページに掲載するなど、積極的に広

報活動を行うこと。

- ・ 開示方法については、各町教育委員会に関係書類及び閲覧簿を備え付け、閲覧の申し出があった場合、情報公開条例の手続きを経ず閲覧させること。
- ・ 採択を行った町教育委員会は、速やかに事務局へ連絡すること。

以上について、矢代事務局長より説明し、再確認した。

6. その他

令和3年度に使用する小学校用教科用図書の採択について、義務教育諸学校の教科用図書の無償措置に関する法律第14条の規定により、各町教育委員会において、昨年度採択した教科用図書と同一のものを使用する採択をするよう説明した。

7. 閉 会